

[最新版\(英語版\)はこちら](#)

最終改訂年月 : 29 June 2000

背景: 糖尿病はプライマリーケアで管理されるようになってきている一般的な慢性疾患である。糖尿病ケアを管理するため、様々なシステムが提案されてきた。

目的: 医療従事者あるいは医療従事者がケアを提供する構造を標的とする様々な介入が、プライマリーケア、外来、地域社会のセッティングにおける糖尿病患者の管理に与える影響を評価する。

検索戦略: Cochrane Effective Practice and Organisation of Care Group specialised register、Cochrane Controlled Trials Register(4号、1999年)、MEDLINE(1966~1999年)、EMBASE(1980~1999年)、Cinahl(1982~1999年)、および論文の参考文献リストを検索した。

選択基準: 1型糖尿病か2型糖尿病を有する患者に対するケアの改善を目指す診療戦略、財政的戦略および組織的戦略のランダム化比較試験(RCT)、非ランダム化比較試験(CCT)、前後比較研究(CBA)、断続時系列(ITS)解析。対象は、医師、看護師、薬剤師などの医療従事者であった。アウトカムには、客観的に測定された医療従事者の行動、妥当性と信頼性のある自己報告指標などがあつた。

データ収集分析: 2名のレビューアが独立にデータを抽出し、研究の質を評価した。

主な結果: 41件の研究(対象:200以上の診療所と48,000名以上の患者)を組み入れた。27件がRCT、12件がCBA、2件がITSであった。これらの研究は、介入、対象、セッティング、アウトカムに関して不均一であった。これらの研究の方法論的質はしばしば不良であった。すべての試験において、介入戦略は多面的であった。12件の試験において、介入は医療従事者を標的とし、9件の試験ではケア組織を標的とし、20件は両方を標的とした。15件の試験において、患者教育が専門職介入や組織的介入に加えられた。専門職介入の併用は、過程アウトカムを改善した。患者アウトカムに対する効果は、稀にしか評価されなかったため、まだそれほど明瞭でない。フォローアップ(組織的介入)に対する調整も、過程アウトカムに好ましい影響を示した。患者教育が加えられた、あるいは、看護師の役割が強化された多重介入も、患者の健康アウトカムに好ましい影響を報告した。

レビューア見解: 多面的専門職介入は、糖尿病患者管理における医療従事者の行動を強化することができる。患者に対して定期的に促されるリコールとレビューを改善する組織的介入(中央コンピュータ化追跡システムまたは患者に定期的に接触する看護師)も糖尿病管理を向上させる可能性がある。患者指向介入の追加は、患者健康アウトカム改善へと導き得る。看護師は、患者教育を通して、あるいは、治療遵守を促すことにより、患者指向介入に重要な役割を果たすことができる。

Citation: Renders CM, Valk GD, Griffin S, Wagner EH, Eijk JThM van, Assendelft WJJ. Interventions to improve the management of diabetes mellitus in primary care, outpatient and community settings. The Cochrane Database of Systematic Reviews 2000, Issue 4. Art. No.: CD001481. DOI: 10.1002/14651858.CD001481.

Clib issue No.: 2005 issue 4

CRG名: Effective Practice and Organisation of Care

* ご注意: この日本語訳は、試験的翻訳(Draft翻訳)版として公開するものであり、翻訳の正確さや質が保証されたものではありません。訳語の間違いなどお気づきの点がございましたら、Minds事務局までご連絡下さい。また、この試験的翻訳版はコクラン・ライブラリ2005年issue 4に掲載されたレビュー・アブストラクトの翻訳です。コクラン・ライブラリは年4回改定版が発行されていますので、ご利用に際しては、最新版(英語版)の内容をご確認下さい。